（記入例）

調　　査　　書

（様式Ｃ）

※ ＮＯ	※記入しないこと

ふりがな 氏　　名	利府（りふ）太朗（たろう）	昭和 （平成） ２３年　５月２５日生
現　住　所	宮城郡利府町しらかし台〇丁目〇番地〇号	
昭和 平成９年　３月３１日　（卒業見込）・卒業 （令和）	特別支援学級種別 （知的、自閉症・情緒等）	知的障害学級

特別支援学校中学部は記入しません。
中学校は知的、自閉症・情緒等を記入してください。

障　害　種	（知的障害）・視覚障害・聴覚障害・（肢体不自由）・病弱　（該当を〇囲む、複数可）		
診　断　名	てんかん	医療的ケア	有　・　（無）
手帳の有無	療育手帳　Ａ　・　（Ｂ）　・　無 身体障害者手帳　（有）（　５級　２種）　・　無 その他		

学　習　の　記　録

教科等	学　習　の　状　況
日常生活の指導	・衣服の着脱では、言葉を掛けて促すことで、自分で下着とズボンを上げることができるようになった。 ・食事はパンを一口量ずつ食べられるようになった。 ・排せつ面では、自分から「シッシ」の言葉で意思を伝えられるようになってきた。
生活単元学習	・調理に興味があり、材料の袋を開けるなど、他の生徒への協力を進んで行った。 ・風船飛行機など自分で作った作品で、みんなと一緒に遊ぶ楽しさを感じとることができた。
作業学習	・陶芸班では、教師に手を添えられながら、たんぽで皿の成型に取り組んだ。 ・作業時間中、椅子に座り４５分程度は集中して作業に取り組むことができた。
総合的な学習の時間	・進路の学習では、〇〇〇学園を訪問し、落ち着いた態度で銅線むきを次々とこなすことができた。
音楽	・簡単なリズム打ちであれば、模倣して打つことができる。 ・音楽を聴くことが好きで、ピアノの簡単な演奏ができる。
保健体育	
特別活動	
自立活動	
その他	

〇各学校で扱っている教科や指導の形態ごとに記入してください。
〇学習の状況の記入の際は、大枠は変えず教科、指導の形態ごとの幅は変えても構いません。

氏名（　　利府　太朗　　）

発　達　の　様　子	行動・性格の記録
（1）基本的生活習慣 ・衣服の着脱では、ボタンを留めるときに支援が必要である。食事は、教員が一口大に切り補助している。排せつは時間が掛かるが、自立している。 （2）運動能力 ・肥満傾向であるが、運動には積極的に取り組んでいる。激しい運動では疲れやすい。 （3）手指機能 ・日常的な道具の操作は可能である。細かいものをまむなど、指先を使う作業は時間が掛かる。 （4）言語理解・意思の表出 ・三語文程度の指示はゆっくり話すことで理解でき、行動に移すことができる。「はい」「いや」「分からない」など、短い言葉や指さしで意思を示すことがある。 （5）社会性 ・集団の中でも指示が分かれば落ち着いて行動できる。急な予定変更には時間が掛かるが、見通しをもてば切り替えができる。	・性格は明朗で、周囲の友達の様子を見て大きな声で笑い、和やかな雰囲気を醸し出すことが多い。 ・自分の行きたい場所ややりたいことがあると指さしをして訴えることが多い。

できるだけ最新の標準検査を記入してください。
WISC-Ⅳ、田中ビネー、S－M式社会生活能力検査等を記載する。

検査年月日	検査名（検査機関）	結果等
令和６年 ６月３日	WISC-Ⅳ （北部アーチル）	ＦＳＩＱ　５０ ＶＣＩ　４８ ＰＲＩ　４０ ＷＭＩ　４１ ＰＳＩ　４０

〈出欠の記録〉

中学３年に在学中の場合は、令和８年１２月１日現在の出欠の状況を記入する。

学年＼事項	授業日数	出席停止忌引き等の日数	出席しなければならない日数	欠席日数	出席日数
1	２００	0	２００	6	１９４
2	２００	0	２００	9	１９１
3	１４７	3	１４４	2	１４２

その他の特記事項

（1）学校生活で配慮を要する点
・食事は、よくかまないで飲み込むことが多いので、食事の際、言葉掛けやしっかりかんで食べられるよう硬さや大きさの点について配慮している。
・肥満傾向にあるので、体を動かす活動を多く取り入れている。

（2）通学方法（原則、通学バスは小・中学部の児童生徒の利用となります。）
・公共の交通機関（バス）を利用した通学を考えている。

（3）高等部卒業後の進路希望
・就労系の福祉サービス事業所での活動を希望している。

（4）中学校在学中の転(編)入学等
・一年次は通常学級、二年次からは知的障害学級へ編入。

上記の記載事項に相違ないことを証明する。

令和８年　××月　××日

学　校　名　○○○立○○○学校

校　長　名　△△　△△　　印

（記　載　者　　職名　◇◇　氏　名　□□□　□□　　）